

# PEACE GOURD



9条の会・養老  
会報、第30号  
2021年7月16日  
(部内資料)

”ピース・ガード” 「平和の瓢箪」

## 土地規制法が成立！ 国民が監視される懸念

世話人 佐竹 哲

基地や原発など安全保障上重要だとする施設周辺の土地利用を調査・規制する法案が、先月16日、参院本会議で可決、成立しました。この法律は、安全保障上重要な施設の周囲1kmや国境離島を「注視区域」に指定し、政府による所有者・利用者等を調査、そして施設機能を妨害する行為への中止勧告・命令を可能にします。また、自衛隊・米軍基地周辺などは「特別注視区域」とし、一定面積以上の売買には利用目的の事前届け出を義務付けます。命令に従わない場合や事前届け出を怠ったりした場合には、2年以下の懲役または200万円以下の罰金を科すということです。

この法律は、憲法で保障された国民の権利を政府が制限し、住民の個人情報や政府が調査し、監視する恐ろしい法律です。特に沖縄・米軍基地周辺の住民や原発と隣り合わせの福井県の海岸周辺の住民は、政府に調査・監視されることとなります。住民が基地周辺の戦闘機による騒音、事故に抗議することや老朽原発の再稼働に対する不安を口にすることも、施設機能を妨害する行為とみなされる可能性があり、何も言えなくなります。これでは民主主義国家とは言えません。養老に住む私たちには関係ないように思うかもしれませんが、戦時下には関ヶ原町玉地区に日本軍の火薬庫がありました。玉地区の住民は自分の田を耕すことさえ、軍の許可を必要とし、監視されていました。この法律は、政府が(米軍と合同で)戦争準備をするために作った法律のように思えます。私たちが政府に監視されるのではなく、私たちが政府を監視しなければなりません。

7月10日 大垣市大外羽  
今にも降りだしそうな梅雨空の中



♪ ♪ 戦後は続くよ どこまでも ♪ ♪

## 大垣市街地の戦跡巡り 続の2 水門川周辺

前回は、パンプキン被爆地を紹介しました。

その被爆地に行く前に、大垣城を見ました。大垣城は、関ヶ原合戦の時、西軍の根拠地でもあった城です。戦前には、江戸期に建てられた大垣城の天守が国宝指定されていました。美しい城だったようです。



その大垣城も、1945年7月29日の空襲により焼かれてしまいました。その大垣城の少し北が、パンプキンの被爆地です。パンプキンの投下も、この大垣城が目標だったのかもしれませんが、記録からは見ることはできません。

パンプキン被爆地、保健センターのトネリコを見ながら、水門川に沿って少し下ると、

円通寺というお寺があります。この辺り一帯は、7月29日の空襲で焼かれました。円通寺も例外ではなく、本堂、庫裏なども焼けたそうです。しかし、その山門は、奇跡的に現在までその姿をとどめています。円通寺は、寛永年間に戸田氏が尾崎から大垣に国替えになった際に、菩提寺として大垣に移ってきています。山門は、天保年間に建てられたもの。また、11月の戦跡巡りでは訪れませんでした。戸田氏ゆかりのお寺が船町にもあります。みたらし地蔵の伝承もある全昌寺です。ここは、本堂も山門もすべて焼かれてしまいました。いずれのお寺の墓石も、古くからのものは戦災の跡があります。



円通寺山門

円通寺の南に、興文小学校があります。ここも空襲に遭っています。当時小学生だった人は、空襲の翌朝学校に行ってみると、ビー玉のようなものがいっぱい落ちていた、高熱で溶けた窓ガラスだろう、と話されます。その興文小学校に、一本の木があります。空襲で真っ黒に焼け、生き返ることは無理だろうと思われていましたが、翌年、芽吹き、今は大木になり、葉を茂らせて子どもたちを見守っています。「興文木(こうぶんぼく)」と呼ばれています。正門の門柱とともに、戦災を生き抜いてきています。



興文木

戦災に遭った木、または見てきた木は、前回紹介しました保健センターのトネリコ、興文木の他に、少し離れますが、桜町の瑞雲寺にも見ることができます。他にもいくつかの戦災木を見つけることができるのではないかと思います。

興文小学校の後、新しくなった大垣市役所を見ました。戦前の大垣市役所は、1937（昭和12）年に苦しい財政事情の中で建てられています。外観を見学しながら、多額のお金をかけて建設したこの庁舎が、どうか再び戦災に遭わないようにと祈らずにはいられません。

現大垣庁舎



昭和12年庁舎



高木正一（空襲体験を語りつぐ大垣の会事務局長）

# 大垣警察市民監視事件の証人尋問を傍聴してきました

2021年5月17日 岐阜地裁にて

世話人 中野一美

中電子会社のシーテック社の社員が初めて証人尋問されるというので、大垣警察との違法な個人情報のやり取りをどう弁解するのか、自分の目と耳で直接確認しに行ってきました。

岐阜地裁で一番広い90人定員の法廷ですが、今回もコロナで半数以下しか入れません。私も入れずに控室で待機していましたが、3時間ほどの長い審理の為、45分で一旦休憩に、知人が出てきて交代してくれて45分間だけ中に入ることができました。

シーテック社の風力発電地域対応グループ長の尋問中です。「なぜ公安警察と情報交換するのか」と聞かれて「事業の進捗状況の報告、発電用の大きな羽根等をトレーラーで運ぶ時は通行止めをしてもらわなくてはならない」などと反対派對策が目的ではないと主張しましたが、さすがに裁判長から、「道路の通行止めと議事録に出てくる4人はどう関係するのか」と聞かれて「いや関係ありませんね・・・」と支離滅裂な答弁をしていたのが印象的でした。裁判長は積極的で審理は前進する感じでしたが、次回予定の大垣警察警備課の警察官の証人尋問は県警の反対で実現できなくなりました。まだ前途多難です。出来るだけの支援と裁判の傍聴を続けていこうと思います。



「会」HPより

⇒  
去る五月十一日付けのしんぶん赤旗に佐竹さん(世話人)の活動が紹介されました。そしたらそのあと「うたごえ新聞」(日本のうたごえ全国協議会機関紙)にも。「うたごえ新聞」ってあったんだ。 ↓

## ひと

ギターを手に「非戦平和」をとらえる僧侶

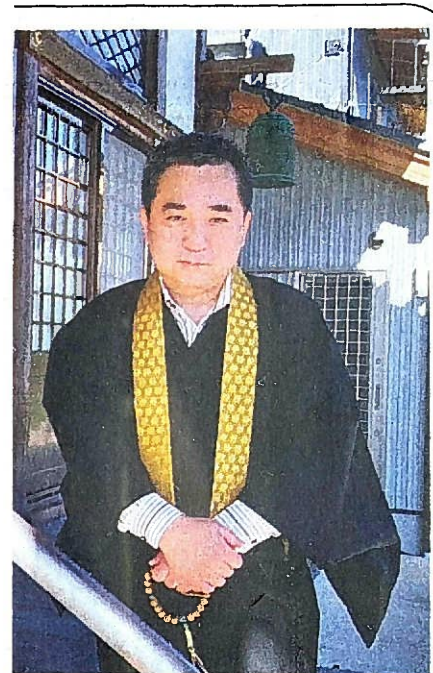
も耳に残っています。転機は1995年、真宗

教団から処分をうけた住職

文・写真 井上 茂保

27年前、父親ががんで倒れ、会社勤めを辞めて祐泉寺(岐阜県善老町)の住職を引き継ぎました。「おれは学徒動員で出征したが持病悪化で兵役を解かれた。同期の大半は戦死している。だからおまえが生を受けたことも尊いご縁なんや」と父が語った言葉は今も心に響きます。戦前、「戦争は罪悪である」と公言して逮捕され、教団から処分をうけた住職

佐竹 哲 さん(60)



・竹中彰元(垂井町、45年死去)を知ったのも衝撃でした。その後、地元の有志とともに復権を求める署名活動に奔走。2007年に教団が謝罪して処分を取り消し、70年ぶりに名誉回復しました。

08年から命日に「竹中彰元のつどい」を開催。12年にはフォークシンガーの笠木透さん(14年死去)に出演を依頼、「反戦僧侶」の歌をプレゼントされました。以来、このつどいでギターを手に参加者と大合唱、イベントや説教でも歌っています。

09年には「真宗大谷派・9条の会 大垣」を発足、事務局を務めています。「仏教には非戦の思想があります。その思想に学び、平和な社会の実現に向けて歩み続けたい」



# ◇今後の活動予定と各団体のイベント予定◇

★「もの言う自由」を守る会 総会  
7月31日(土) 14時～  
場所：ソフトピアジャパン  
主催：「もの言う自由」を守る会  
中松正人弁護士、講演

★平和展  
8月1日(月)～15(月)  
場所：真宗大谷派大垣別院  
主催：真宗大谷派大垣教務所  
誰でも自由に見学できます。

♠♠♠♠♠ コロナ禍のどさくさに、国民投票法改定案が成立 ♠♠♠♠♠

3年前に安倍首相の下で、改憲論議を推進する呼び水として出された国民投票法改定案が、6月11日に成立しました。テレビ等の宣伝が無制限で金の有るほうが世論をリード出来るという不備を、「施行3年後をめぐりに再検討する」という民主党の要求が附則につけ加えられて、同党が賛成に回ったためです。玉虫色の附則で何の保証もありません。ただし改正法自体は国政選挙と同じように駅などで投票できるようにしたりするもので、それが成立したからと言って、憲法を守る運動が特に困難になったわけではありません。10月までには必ず総選挙があり改憲派を更に少数にできます。

一方菅首相は何としても支持率を上げて選挙に勝つため、ワクチンを急がせ、強引にオリンピックをやろうとしています。そして国民投票法の論議と並行して、自民党の改憲4項目、特に「緊急事態条項の創設」の議論を進める構えです。これは緊急事態宣言と名前は似ていますが全く別物で一時的に政府が全権力を掌握し、勝手に法律も作れるもので、政府の独裁に道を開く恐れが強くなります。コロナ禍のどさくさまぎれに絶対こんなことを許すわけにはいけません。

この法律の成立を受けて、2004年設立の「九条の会」が出した声明を同封しておきますので、是非ご一読ください。

世話人 中野一美

7月6日付の中日新聞西濃版に中野さん(世話人代表)宅のオニヤンマ羽化の記事が載っていました。ヤゴの背を割って出てきた成虫の羽根が伸びて、もう少しで飛びそうな状態になってきています。



7月6日 中日新聞

## 養老・中野さん方の庭で羽化

オニヤンマ「清流」から次々と

日本最大のトンボ「オニヤンマ」働き、産卵を機に自然を求めてマが、養老町相馬の中野美さん宅の方で今年も羽化した。住む。吉長家を改修して、コロナ禍の騒ぎをまよ、中野 幸徳、ホタルがすめるようにさん手を打つ。「清流」からと川を通ったと云え、七、八中野さんはエンジンで、先月20日から25日

「羽化した小川の前で、オニヤンマが羽化する様子を話す中野さん。いずれも養老町相馬で撮影」

「オニヤンマは、きれいな水が流れていて、浅い砂地の川に卵を産むらしい」とびびった。今年初めて羽化を確信したのは六月二十日。七月頭までに昨年と同じ程度の二十五匹を数えたという。コロナ禍閉じこもり近所さんが集まって「パーベキュー」を楽しんでいた。今は始めて入らない寂しさもあるが、一方で自身は、回のワンチンを打って帰る。コロナ禍は収束へ着実に歩みを進めていくと感じている。

「養老町は、れは自然があり、車で少し行くと庭も病院もある。便利な場所」と中野さん。アシサイが咲く庭、皆で楽しめる日が戻ってくることを願う。(養老町報)

中野さん方で羽化するオニヤンマ＝中野さん提供

### 編集後記

#### 「ホッとする記事」

ワクチン接種が進み始めた途端、また急にブレーキが掛かってきているようです。世話人会の中にも知らず知らずの内に「ワクチン打てば活動再開？」の「待ち」気持ちの気配があります。

今回の会報では9条の会らしからぬ(?)臨時の記事(オニヤンマ)が割って入ることになりました。会員の方から「慌ただしい中、ホッとする記事でした。」と、コメントが寄せられていました。

世話人 問山尚義

### 連絡先

「9条の会・養老」世話人

090-9183-0444 中野一美 (代表)

090-9894-0444 佐竹 哲

090-2348-0719 問山尚義

090-8733-0090 禿 憲正

fax (問山)

0584-71-8746

E-mail (問山)

toiyama@ninus.ocn.ne.jp